

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの 事 業 報 告

はじめに

平成 29 年度公益社団法人国分寺市シルバー人材センターの事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

当センターは、「第 2 次中長期計画・後期計画（平成 26 年度～平成 30 年度）」に基づき平成 29 年度事業計画や数値目標の達成に向けて、健全な事業運営に努力してまいりました。

日本経済は、緩やかな回復基調が続いておりますが、海外経済の動向や緊張する国際情勢の変動に伴う国内経済への影響も懸念されるなど、依然として先行きは、不透明な状況にあります。

こうした中、当センターを取り巻く状況も、厳しい環境・条件下にありましたが、「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、以下の平成 29 年度の具体的な事業運営・活動に取り組んでまいりました。

平成 29 年度の具体的な事業運営・活動の取り組み

1. 「第 2 次中長期計画・後期計画」を推進しました。

- ① 平成 29 年度の数値目標の達成に向けて、適正なセンター事業・運営を積極的に取り組みました。

平成 29 年度事業実績数値目標			
	数値目標	事業実績	達成率
会 員 数	740 人	665 人	89.9%
(女性比率)	(29.9%)	(29.9%)	(100.0%)
契 約 金 額	303,000 千円	299,140 千円	98.7%
年間就業率	79.0%	86.2%	109.1%

- ② 会員数は、平成 29 年 6 月末の 662 人を底にゆるやかな増加傾向に転じていますが、平成 30 年 3 月 31 現在では、入会員数より退会員数が上回っている状況です。したがって、会員数数値目標の達成率は、89.9%となっ

ています。

- ① 公共事業の受注では選挙関係の受注がなくなりましたが、公共事業・民間事業ともに配分金の単価が上がったことから、契約金額が若干伸びました。しかし、契約金額総額は299,140千円、目標達成率98.7%の実績に留まりました。一方、年間就業率は86.2%と伸びました。
- ② また、受託件数は6,072件（月平均506件）、延日人員は66,025人（月平均5,502人）、実人員は573人の実績となっています。
- ③ 平成29年4月1日以降の公共及び民間の契約については、国分寺市及び発注者等の理解を得ながら、配分金の一部を888円から932円に引き上げました。

2. 会員の拡大と就業機会の確保、契約金額及び就業率の向上に努めました。

- ① 毎月ホームページを更新して、センターの最新情報を提供・開示し、会員拡大及び就業開拓（派遣事業を含め。）に取り組みました。さらに、会員専用ページでは、就業情報を更新して情報提供に努めました。
- ② 毎月の入会説明会は、事業委員会の理事が担当し、福祉センターで年14回、市内の施設で6回の合計20回開催し、新たに年間で71人が入会しました。（年間退会者数：120人）
- ③ 会員一人ひとりが新規会員を紹介する「会員増強運動」を平成28年10月からセンター全体で取り組み、本年度も地域班会議等で周知し、取り組みました。
- ④ センター事務局職員が市内事業所訪問を実施し、幅広く請負事業及び派遣事業の就業開拓に取り組みましたが、会員の就業ニーズと就業提供業務とのミスマッチにより、新規受託件数が減少しています。
- ⑤ 公共の施設管理では、就業基準の適正な運用を図り、10月1日からの就業希望会員の面接を8月に行いました。しかし、会員の就業ニーズが変化し多様化している現状もあり、今年度も就業希望会員の確保が困難な状況が継続しています。
- ⑥ 長期就業している就業場所では、就業会員の理解を得ながら、ローテーション就業を推進し、より多くの会員に就業機会を拡大しました。
- ⑦ 未就業会員を対象に、毎月第二金曜日に就業相談会を実施し、会員の就業機会の拡大に努めました。

- ⑧ 会員同士の交流を図るため、10月6日に第3回歩いてゼミナール「文学散歩/小金井のはけを歩く」を実施しました。

3. シルバー事業に関する普及、宣伝活動を推進しました。

- ① 会報「いきがい」第136号を8月、第137号を1月に2回発行し、会員相互の連帯意識を高め、センター事業の内容紹介など情報提供に努めました。
- ② さらに、センター事業の報告や会員への情報発信するため、「センター便り」も、第12号を4月、第13号を10月に2回発行しました。
- ③ 一般家庭、事業所、官公庁等に、センター事業のチラシ・ポスター及び会員募集チラシを配布し、受注拡大と会員の加入促進に取り組みました。
- ④ 市報等を活用して毎月の入会説明会の案内や、広報強調月間に合わせ10月1日号市報では会員募集の記事の掲載など、広く市民への広報・宣伝活動に取り組みました。
- ⑤ 役職員を中心に11月5日の国分寺まつりに参加し、センター事業等のPR活動に取り組み、さらに国分寺駅南北通路で10月24日に駅頭宣伝を実施しました。
- ⑥ シルバー同好会共催の第7回目のシルバースフェスティバルを12月21日から23日まで国分寺Lホールで開催し、センター事業のPR活動及び就業相談を実施しました。また、22日には、同会場で「転倒予防講座」を開催し、翌23日には「ふくの会」（ハーモニカ）とオカリナの演奏を行いました。

4. 会員の就業意識の向上に努め、接遇などの研修を実施しました。

- ① 就業に関する知識及び技能を向上させるため、財団（連合）が開催する役員及び会員を対象とする研修会・講習会に積極的に参加しました。
- ② 財団の就業支援講習を積極的に活用して、就業会員向け家事援助サービス・生活支援サービス研修及び接遇研修の3回の研修会に、会員等が参加しました。
- ③ 指定管理業務では、就業会員の接遇など質の高いサービスが求められるため、当センター独自の接遇研修を12月14日と15日に開催するとともに、財団の接遇研修を含め年4回実施しました。
- ④ また、施設管理就業会員を対象にAED（自動体外式除細動器）講習は、11月29日に実施し15名が受講しました。

- ⑤ 地域班会議は、11の地域で10月17日から11月10日まで開催されました。参加会員数は165人、出席率24.8%で、会員同士の交流とセンター事業についての理解を深めました。
- ⑥ 地域班長会議では、センター事業の内容について周知を図り、7月28日の第1回地域班長会議では「出前寄席」、12月15日の第2回地域班長会議では「転倒予防教室」を開催しました。
- ⑦ 職域班会議は、植木班・除草班・施設管理など仕事別グループを含め延べ51回実施しました。
- ⑧ 就業会員に対して、センター事業を適正・適法に運営していくために、「駅周辺では禁煙です」などの注意を喚起し、コンプライアンス（法令遵守）を意識していただき、資質の向上に努めました。

5. 事故「ゼロ」を目標に、安全就業対策と健康管理に努めました。

- ① 毎月第三木曜日を「安全の日」と定め、安全巡回指導を13回実施し、就業会員に対して安全点検チェックリストによる聞き取りを実施し、適正就業と事故「ゼロ」の取り組みを推進しました。
- ② 安全管理委員会では、平成29年度事業計画及び安全管理活動計画に基づき安全就業及び事故防止に向けた取り組みを推進しました。会員には、「安全だより」を7月に、「安全推進だより」を12月に発行しました。
- ③ 「安全はすべてに優先する」を基本に、入会説明会や新しく就業する会員に対して「安全心得10ヶ条」の周知及び徹底を図りました。
- ④ 平成30年度の「安全標語」については、財団は「健康の維持管理について」、センターは「転倒事故防止について」を標語テーマと設定して、1月に募集しました。各標語にはそれぞれ43点の応募があり、標語毎に3点の優秀作品を選考しました。
- ⑤ 7月の「安全就業強調月間」では、7月6日と20日に特別安全巡回を2回実施し、会員に安全就業の推進についての啓発活動・周知に取り組みました。
- ⑥ 6月16日の第7回定時総会では、第1部として「JAF交通安全講習会」の講演会を開催し、自転車交通安全・就業途上の事故防止に取り組みました。
- ⑦ 土日などセンター閉所時の緊急・事故対応として、会報等でコールセンター（☎04-2929-8282）の周知を行いました。
- ⑧ 会員の健康維持・増進を図るため、市高齢福祉課・地域包括センターの協

力を得て「体力測定・介護予防健診」に取り組み、28名の会員が参加しました。

6. 福祉・家事援助サービス事業をより推進しました。

- ① 福祉・家事援助サービスについての財団が主催する講習会及び普及啓発活動に、就業会員が参加しました。
- ② また、国分寺市が平成29年4月から実施する介護予防・日常生活支援総合事業B型事業を受託し、事業を開始しました。
- ③ これらの講習会及び普及・啓発活動を推進することで、女性会員の加入促進を図りました。

7. 保育補助分野などのシルバー派遣事業に取り組みました。

- ① 従来の請負・委託事業になじまない高齢者の多様な就業機会の確保及び拡大に向けて、公益財団法人東京しごと財団国分寺派遣事業所を開設して、シルバー派遣事業に取り組みました。

受注 件数	契約金額	賃 金	延実人員	就 業 延人員	事務委託 手数料
6 件	4,090,143 円	3,156,720 円	6 人	729 人日	424,055 円

※ 財団分の事務委託手数料を除く。

- ② 7月26日には、保育補助及び調理補助に就業（労働）するシルバー派遣希望会員を募集する説明会を開催しました。
- ③ また、財団の主催する派遣事業に関する会議に参加し、他センターの状況や労働関係法令等の認知・情報収集に努めました。

8. 「会員状況調査」と「ご利用者アンケート」を実施しました。

- ① 会員には6月に、公平な就業機会の提供を行うため「会員状況調査」を実施しました。対象会員701人で、回答は623名、回収率88.9%で、センターで働きたい会員は全体の7.0%、一方、働けない・働く気がない・退会したい会員は13.0%という結果でした。
- ② このアンケート結果に基づいて、未就業会員には就業情報をホームページや電話等で提供しました。
- ③ 当センターを利用いただいているお客様に対して、昨年10月に会員

が行った仕事の完成度や満足度についてアンケートを実施し、仕事の出来栄え・満足度は普通から満足までが 100%，料金に関しては妥当と安いが 96.8%という結果でした。

9. ボランティア活動を実施しました。

- ① 会員としての誇りを持つとともに、地域社会への貢献活動として、国分寺まつりの翌日 11 月 6 日に総勢 16 人が参加し、ボランティア清掃等を実施しました。
- ② 市報配布会員による「空き家情報」をボランティアで実施し、今年度は 62 件の空き家情報を市に提供しました。
- ③ 地域での高齢者の見守りや高齢者福祉施設等の慰問・児童下校時安全パトロールなど福祉活動を支援しました。

10. センター事業の適正な事業運営・経営に努めました。

- ① 毎月開催する理事会では、センター事業の適正な運営・経営にとって重要な案件を審議・決定するとともに、総務・事業・安全管理の各委員会活動を推進しました。
 - ㊦ 第 7 回定時総会は 6 月 16 日に開催し、平成 28 年度監査報告、平成 28 年度事業報告及び決算、理事及び監事の選任の提出議案すべてが、可決承認されました。
 - ㊧ 総務委員会は 11 回開催し、会報の発行・講演会等の企画などを協議し、センターから会員への情報提供を行いました。
 - ㊨ 事業委員会は 10 回開催し、入会説明会を担当し、さらに会員増強運動や派遣事業を含め就業開拓を協議し、事業 PR 活動に取り組みました。
 - ㊩ 安全管理委員会は、安全管理委員と安全支援員が順番で「安全の日」巡回指導を計 13 回実施し、安全就業・適正就業を推進しました。
- ② 配分金単価については、原則東京都最低賃金を参考にして市と委託単価改定を協議し、平成 29 年 4 月以降の公共及び民間の請負・委託契約では、配分金の最低額を 932 円に引き上げました。（指定管理業務の恋ヶ窪自転車駐車場管理・いきいきセンター管理を除く。）
- ③ 定款第 24 条（理事の職務及び権限）に規定されている会長、副会長及び常務理事の自己の職務の執行の状況を、平成 29 年度第 7 回理事会（開催日：平成 29 年 10 月 27 日）と第 12 回理事会（開催日：平成 30 年 3 月 23 日）で報告しました。